



証券コード
7743

2023年3月期第1四半期 連結決算説明会

2022年8月19日



株式会社 シード

1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

- 1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要**
2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

国内

- ・新型コロナウイルスの抑制とともに人流の回復が進む。1日使い捨てタイプへのシフトが緩やかに継続。
- ・乱視用、遠近両用、オルソケラトロジーレンズ等の高付加価値商品の伸長等により、順調に成長基調を示す。

海外

- ・中国：新型コロナウイルス対策として都市封鎖を行ったことで、コンタクトレンズの小売り活動に支障が出る。5月中旬には都市封鎖解除の方針が示されたため、経済活動再開への期待が高まっている。
- ・その他：「ウイズコロナ」の考えに根差した行動制限の緩和策が取られ、経済・社会活動は国や地域によるばらつきを伴いながらも回復しつつある。

環境変化に適応した対応

- 主要量販店等へのOEM供給を実施し、生産ラインの稼働率向上と出荷金額の絶対量を確保
- SNSを通じた広告宣伝を行う等、消費者への直接の需要喚起を実施
- 遠近両用コンタクトレンズやオルソケラトロジーレンズ等の成長性のある高付加価値商品の拡販に注力

原材料、エネルギー価格の急騰、急激な円安の進行等のため2022年4月1日（金）より順次一部製品価格改定実施

2023年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト

| 連結 [百万円] 百万円未満切捨て | 2021/3期 1Q | 2022/3期 1Q | 2023/3期 1Q | 前期比較 | | 2023/3期 通期見通し | 進捗率 |
|-------------------------|------------|-----------------|------------------------|--------------|------------------|------------------|-------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | | |
| 売上高 | 6,099 | 6,733 6,911※ | 7,569 7,738※ | +836 +827 | +12.4% +12.0% | 31,000 | 24.4% |
| 営業利益 | 52 | 337 | 352 | +15 | +4.5% | 820 | 42.9% |
| (営業利益率) | 0.9% | 5.0% | 4.7% | - | △0.3% | 4.2% | - |
| 経常利益 | 34 | 326 | 409 | +83 | +25.4% | 700 | 58.4% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | △28 | 141 | 184 | +43 | +30.6% | 320 | 57.5% |

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合

| | |
|------|--|
| 売上高 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンタクトレンズ需要が順調に回復基調を示したことに加え、価格改定に伴う駆け込み需要により、売上高は75.6億円(前年同期比12.4%増) ・オルソケラトロジーレンズは市場が着実な成長を示し、前年同期比13.7%増と大きく伸長 |
| 営業利益 | 売上高の増加に加え、販管費が抑制されたことにより、営業利益3.5億円(前年同期比4.5%増) |

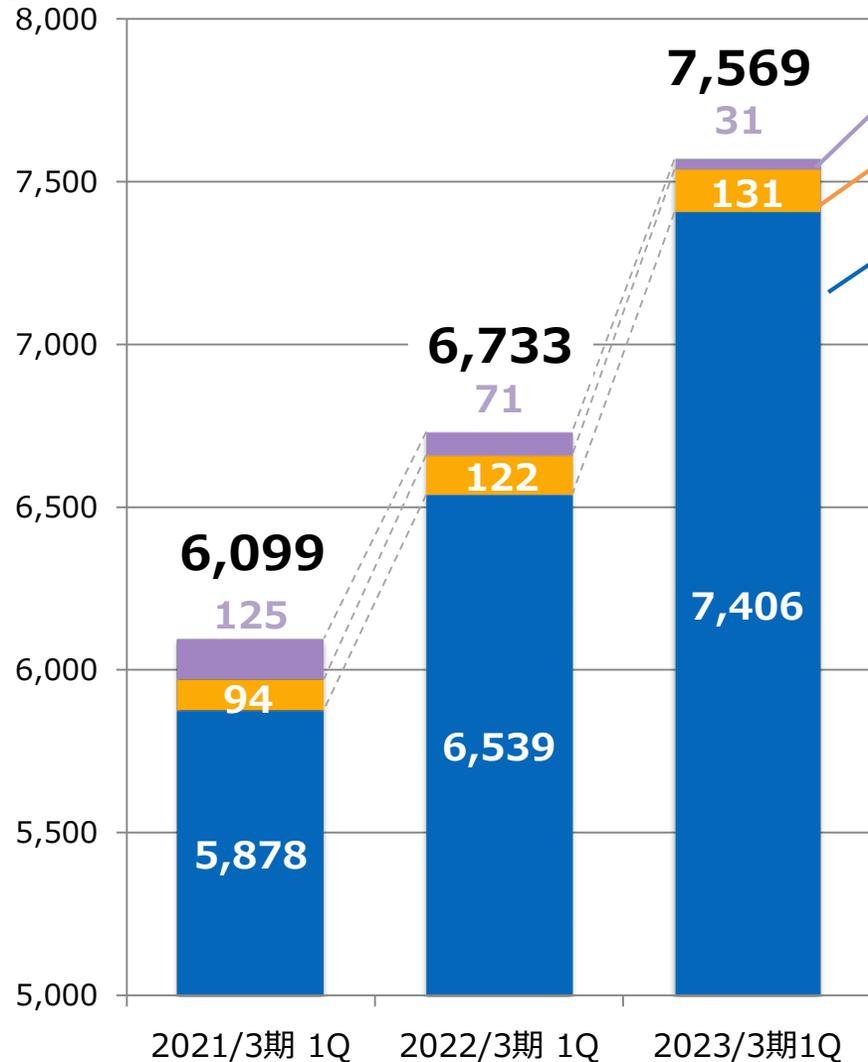
事業別売上高

連結

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他

※コンタクトレンズ：光学器械含む
 ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]
 百万円未満切捨て

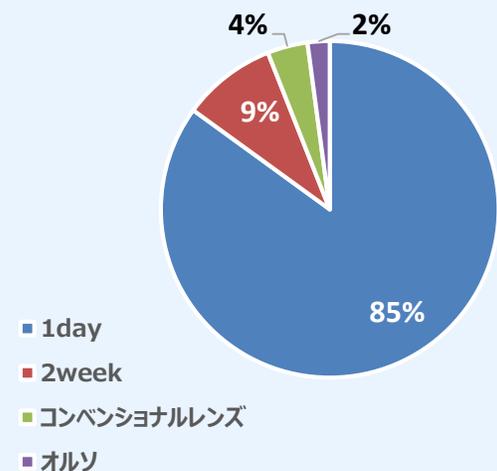


✓ 眼鏡卸売事業から撤退したため前年同期比55.6%減

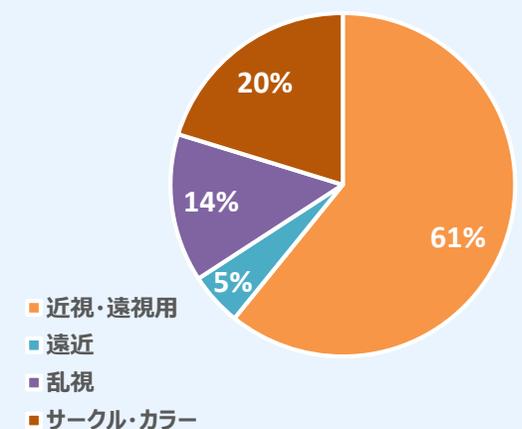
✓ 新商品の発売により前年同期比を上回る

✓ コンタクトレンズ需要の回復、製品価格改定に伴う駆け込み需要により大幅増

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



カテゴリー別対前期増減比率（単体卸売ベース）

| | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| ワンデーピュア | 23.7%増 | 2ウィークピュア | 4.2%増 |
| ワンデーファイン | 8.3%増 | サークル・カラー | 3.3%増 |
| オルソケラトロジー | 10.9%増 | 遠近両用 | 15.8%増 |

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計
 ※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

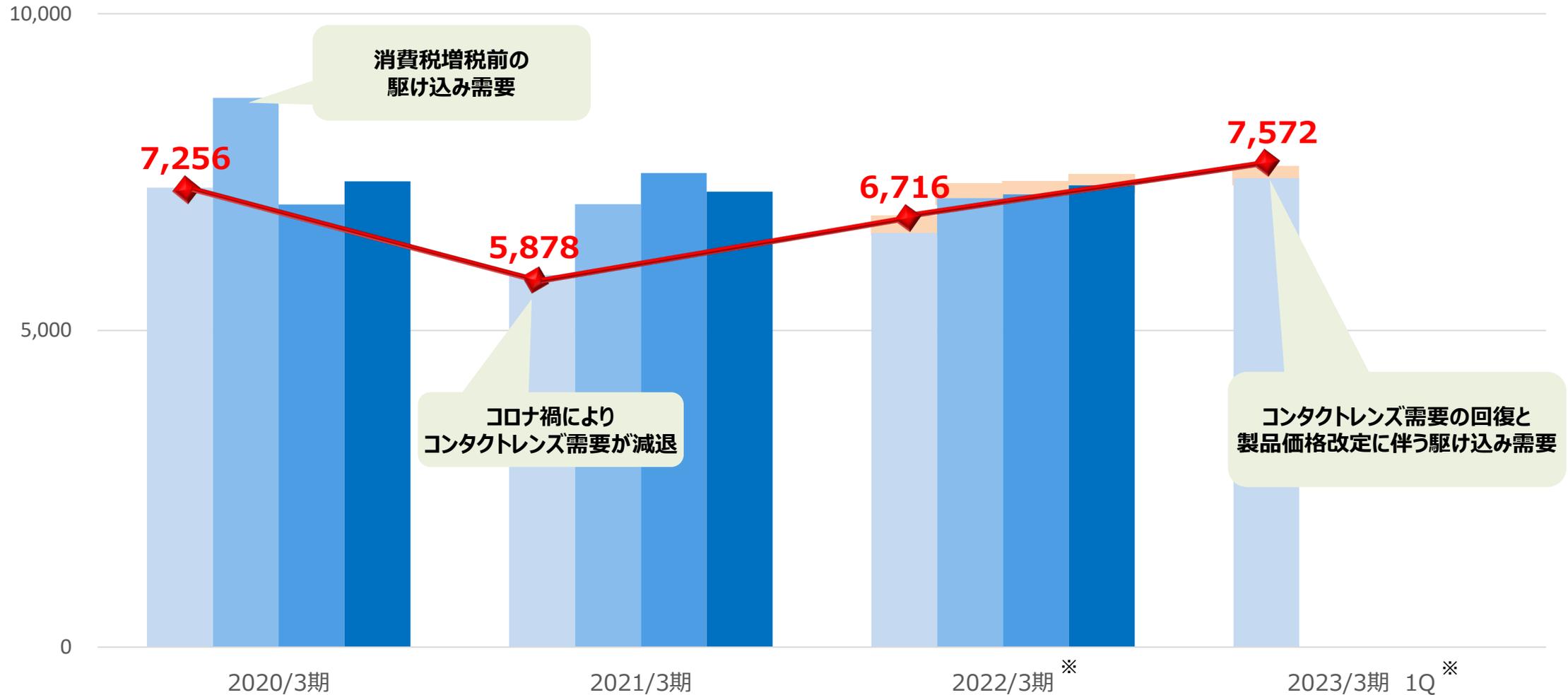
※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前とした場合

連結 ※卸売りベース

[百万円]

百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆ 四半期平均

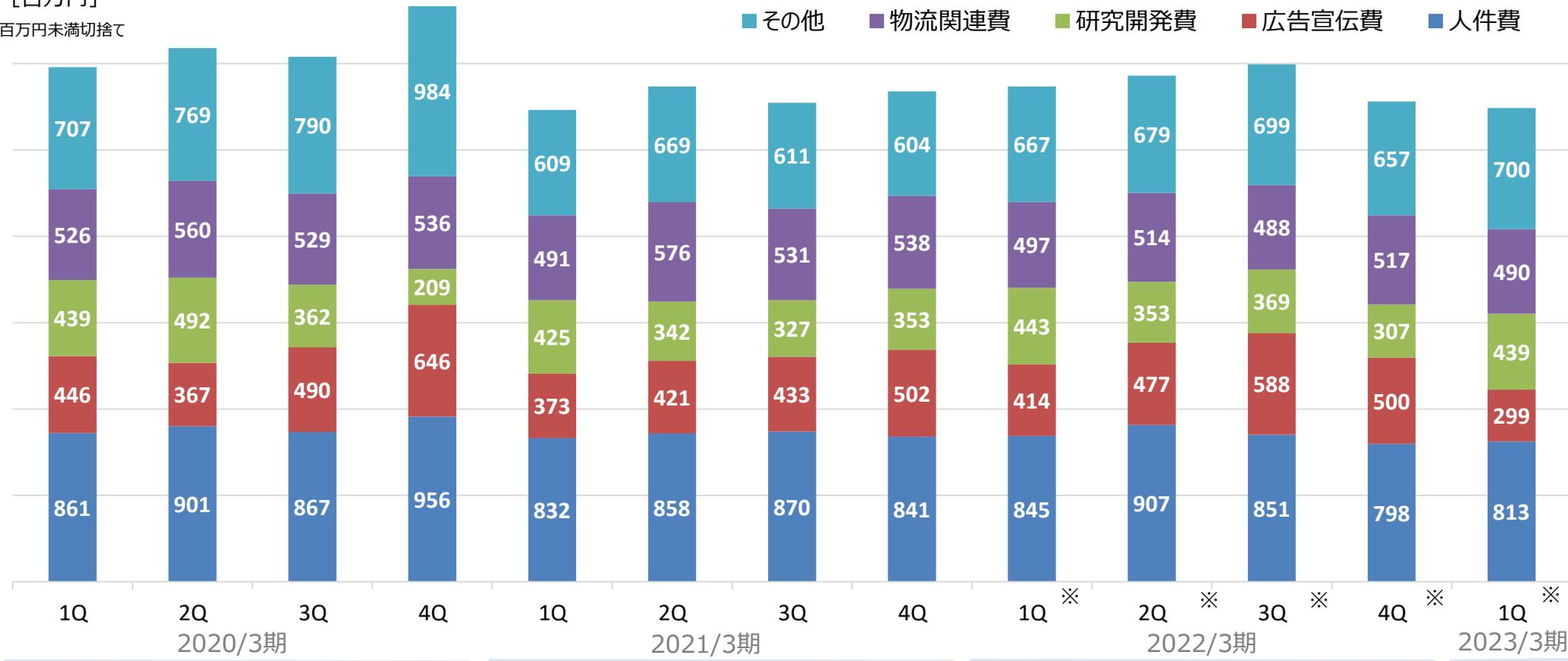


販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て



- 人件費 : 役員報酬の減額等により、前年同期比で減少
- 物流関連費 : 国内売上高の伸長に伴う配送量の増加を輸送コストの見直しで吸収し、前年同期比では減少
- 広告宣伝費 : 販売促進費の適正化により前年同期比で減少
- 研究開発費 : 1dayPureEDOFの近視進行抑制に係る治験を実施
- その他 : 新商品のトライアルレンズ費用、仮社屋の家賃等により増加

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合

財務状況推移

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

| | 2022/3月末 | | 2023/3期 1Q | | 前期比較 |
|----------------|---------------|--------------|---------------|--------------|-------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 資産の部計 | 41,785 | 100.0 | 41,231 | 100.0 | △554 |
| 流動資産 | 17,328 | 41.5 | 17,385 | 42.2 | +56 |
| 内 現預金 | 3,877 | 9.3 | 3,511 | 8.5 | △366 |
| 商品及び製品 | 6,006 | 14.4 | 6,860 | 16.6 | +854 |
| 貸倒引当金 | △100 | - | △100 | - | - |
| 固定資産 | 24,457 | 58.5 | 23,846 | 57.8 | △610 |
| 内 有形固定資産 | 20,395 | 48.8 | 20,051 | 48.6 | △343 |
| 無形固定資産 | 1,869 | 4.5 | 1,817 | 4.4 | △51 |
| 負債の部計 | 29,253 | 71.7 | 28,551 | 70.0 | △701 |
| 流動負債 | 16,406 | 39.3 | 16,367 | 40.1 | △38 |
| 内 短期借入金 | 11,503 | 27.5 | 11,856 | 29.1 | +352 |
| 短期リース債務 | 1,075 | 2.6 | 1,004 | 2.5 | △70 |
| 固定負債 | 12,847 | 30.8 | 12,183 | 29.9 | △663 |
| 内 長期借入金 | 6,736 | 16.1 | 6,180 | 15.2 | △555 |
| 長期リース債務 | 2,726 | 6.5 | 2,574 | 6.3 | △152 |
| 純資産の部計 | 12,532 | 32.0 | 12,679 | 30.7 | +147 |
| 負債・純資産計 | 41,785 | 100.0 | 41,231 | 100.0 | △554 |

在庫などの積上げによる
手元資金の減少

新商品発売の為の
在庫積み上げ

建物、機械、器具
の償却

借入金の返済

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

| | 2022/3期 1Q | 2023/3期 1Q | 前期比較 |
|--------------------------------|--------------|--------------|---------------|
| 営業活動によるC・F | 1,598 | 768 | △830 |
| 内 税金等調整前四半期純利益 | 300 | 408 | +108 |
| 減価償却費 | 666 | 631 | △35 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △184 | △785 | △601 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 274 | △85 | △359 |
| 投資活動によるC・F | △675 | △353 | +321 |
| 内 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出 | △410 | 0 | +410 |
| 有形固定資産取得 | △292 | △512 | △219 |
| 無形固定資産の取得 | △8 | △2 | +6 |
| 事業譲渡による収入 | — | 150 | +150 |
| 財務活動によるC・F | △128 | △808 | △680 |
| 内 短期借入金の純増減額 | 400 | 312 | △87 |
| 長期借入金の借入 | 542 | 4 | △537 |
| 長期借入金の返済 | △556 | △576 | △20 |
| リース債務の返済による支出 | △242 | △255 | △13 |
| 現金及び現金同等物 四半期末残高 | 4,719 | 3,511 | △1,208 |

新商品発売の為の
在庫積み上げ

[2022年3月期 1Q]
(株)ユニバーサルビューの
株式取得

新製品製造の為の設備導入

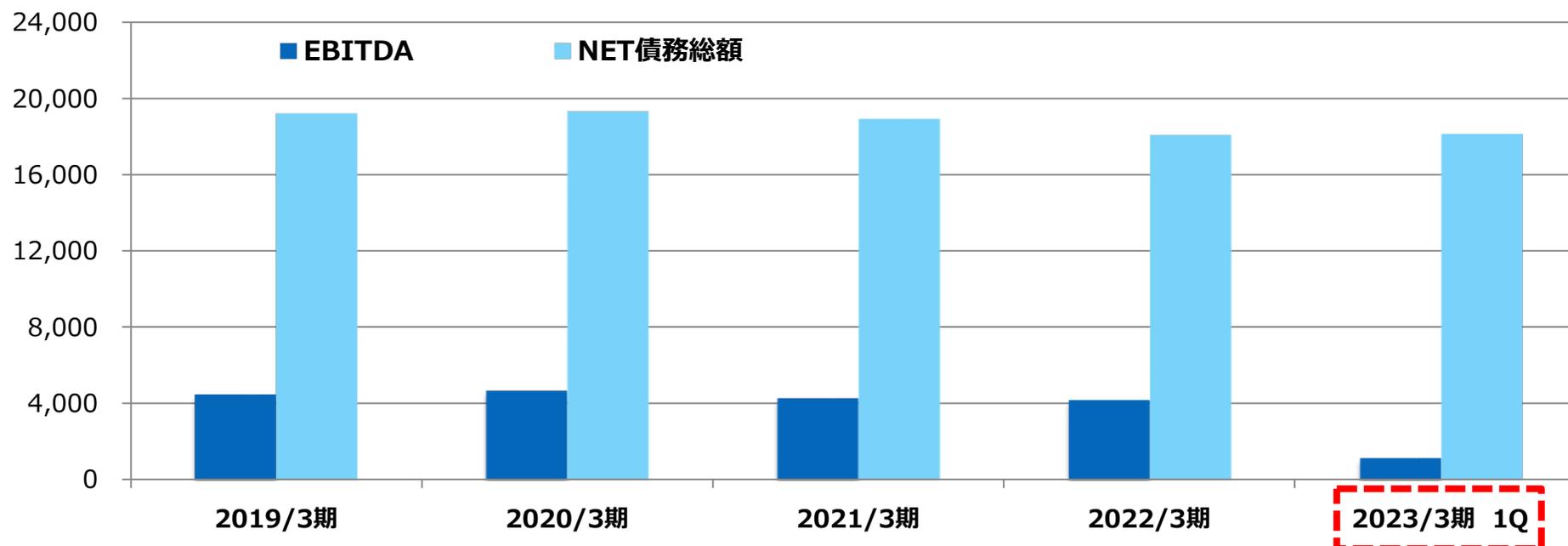
[2022年3月期 1Q]
(株)ユニバーサルビューの
株式取得を目的とした借入

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

| | 2019/3期 | 2020/3期 | 2021/3期 | 2022/3期 | 2022/3期 1Q | 2023/3期 1Q |
|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| EBITDA | 4,415 | 4,621 | 4,218 | 4,140 | 1,061 | 1,111 |
| EBITDAマージン EBITDA÷売上高 | 15.0% | 14.5% | 14.7% | 14.4% | 15.8% | 14.7% |

※2021年3月期以前については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前の数値

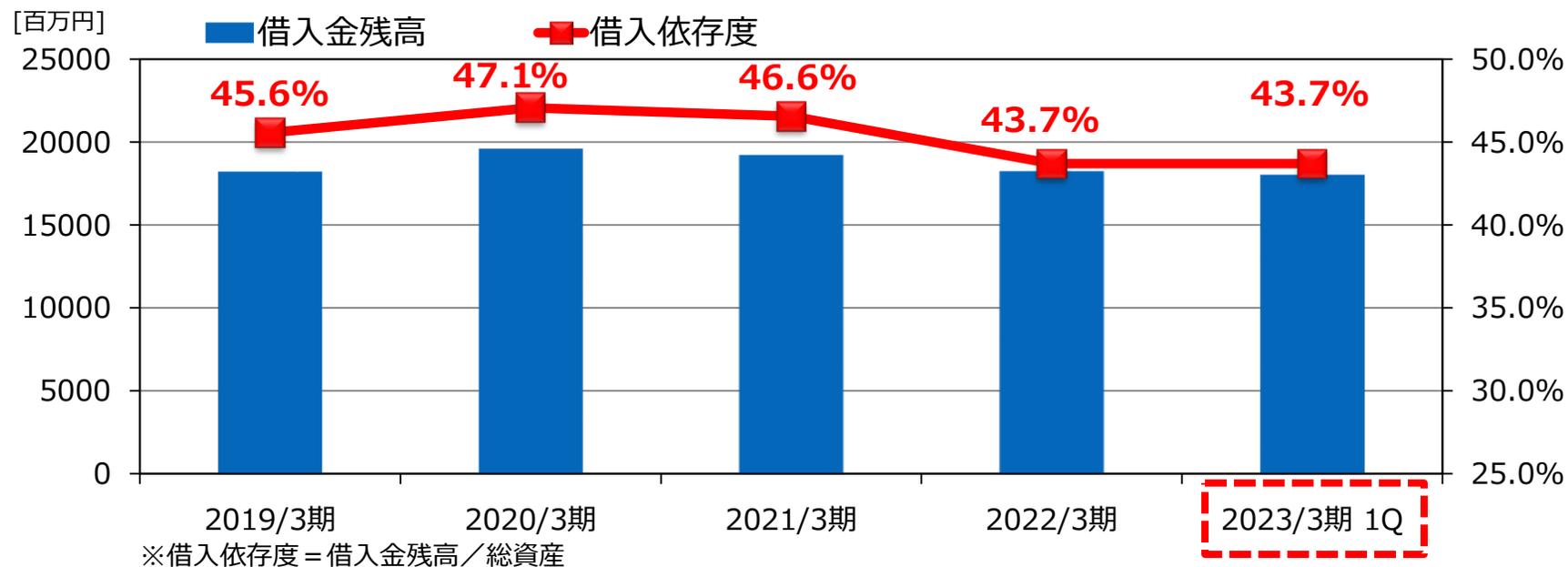
[百万円]



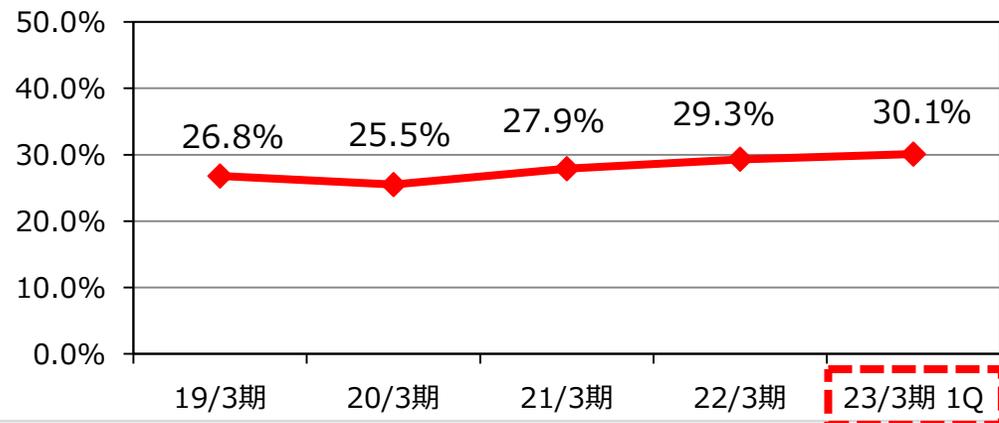
※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

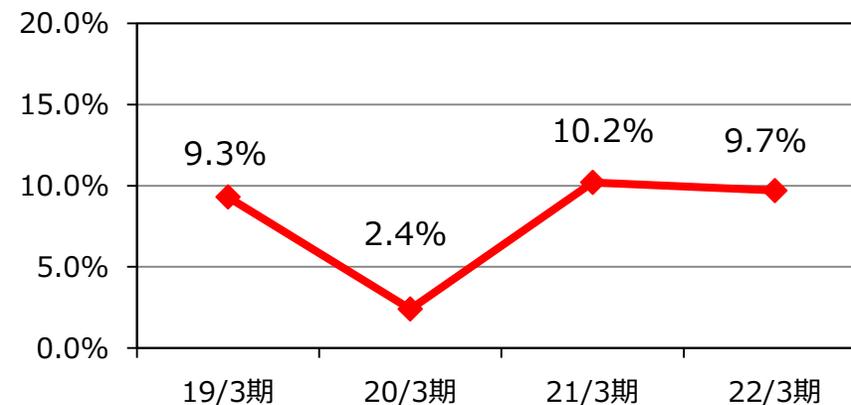
◆借入金の推移



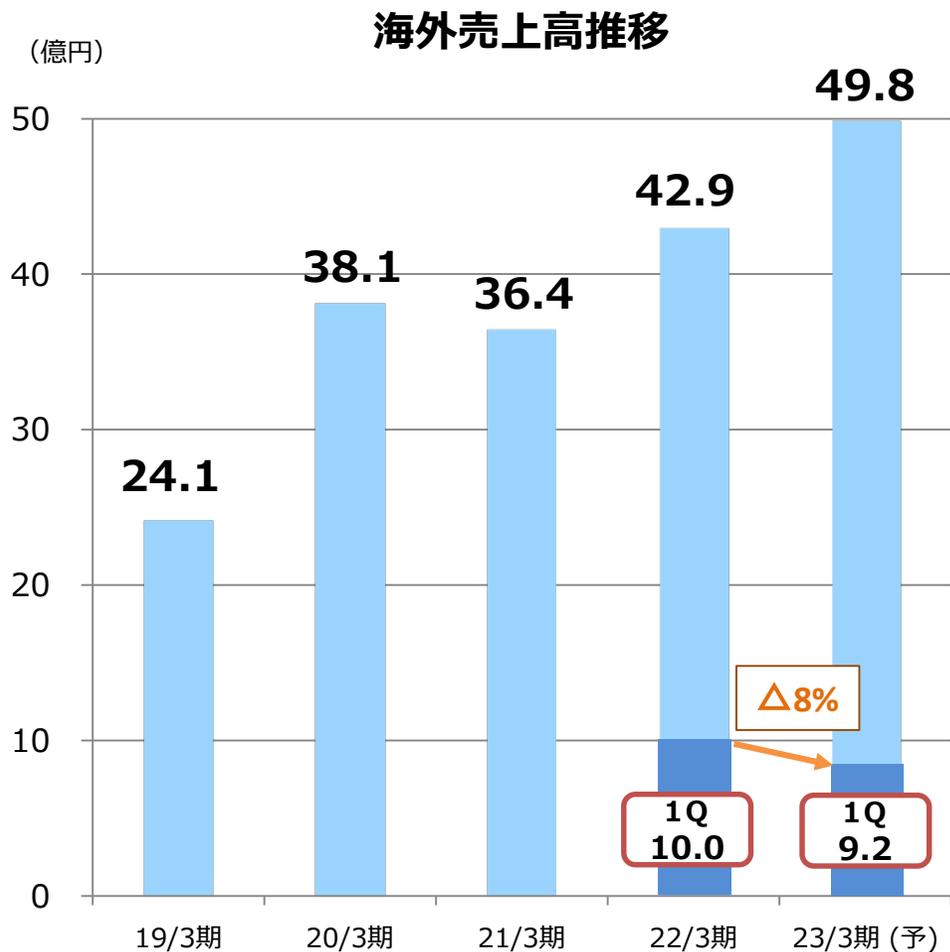
◆自己資本比率



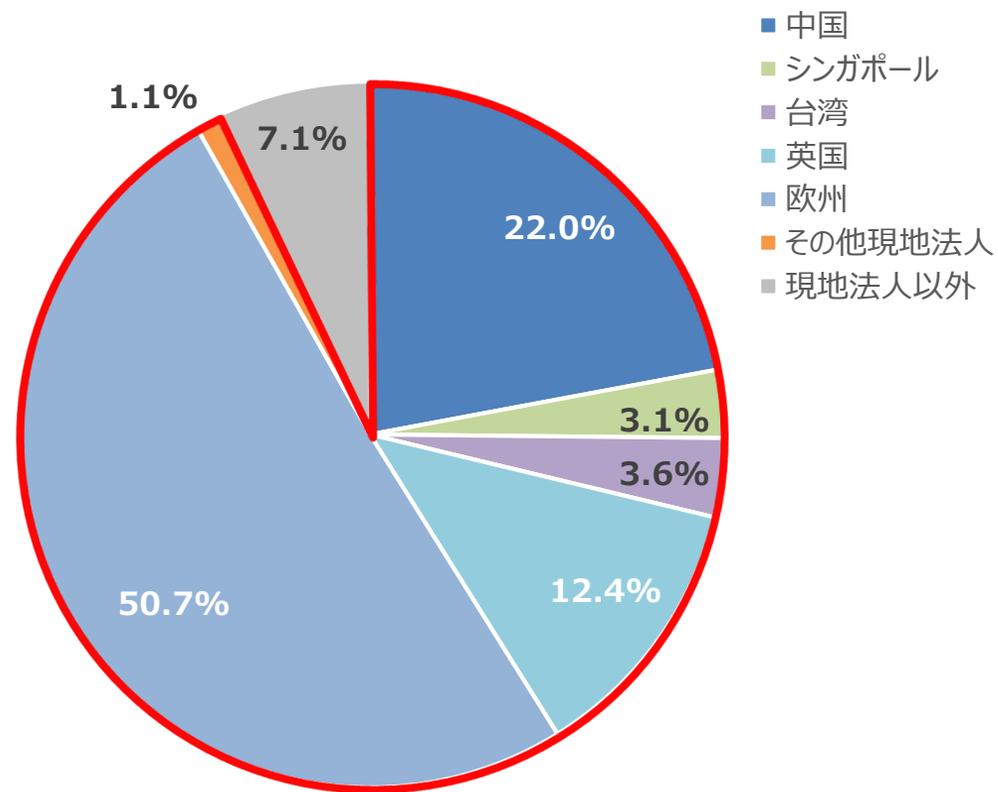
◆自己資本当期純利益率(ROE)



海外事業で大きなウエイトを占めている中国の都市封鎖の影響により1Qの売上実績は前期を下回った



海外売上高構成比 (2023/3期 1Q)



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要
- 2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス**
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

2022年4月27日 新発売
ブラウン系ニュアンスカラーを取り揃えた
1日使い捨てカラーコンタクトレンズ「ベルミー」



人気TikTokerでもある山之内すずさんをモデルとして起用

ライフスタイルやトレンドに合わせて“なりたいわたしを
選べる”5色のニュアンスカラーコンタクトレンズ

ソフトコンタクトレンズケア用品
フォレストリーフ うるおいW（ダブル）新発売



フォレストリーフ うるおいW（ダブル）2本パック

- ◆ 全てのソフトコンタクトレンズに使用可能
- ◆ 本商品1本で洗浄・すすぎ・消毒・保存まで可能
- ◆ 360mL1本入りor2本入り（専用レンズケース付き）

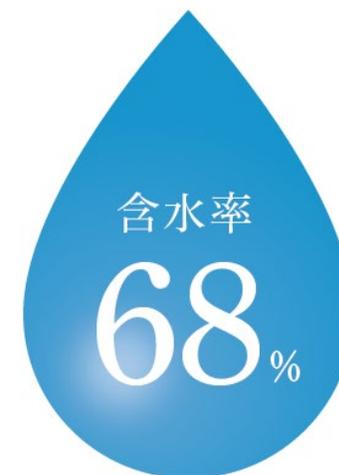
シード初の国産シリコンハイドロゲルレンズ
シード1daySilfa (ワンデーシルファ)

2022年7月～九州エリア
(沖縄を除く)から販売開始

2021年2月～欧州一部地域で販売開始



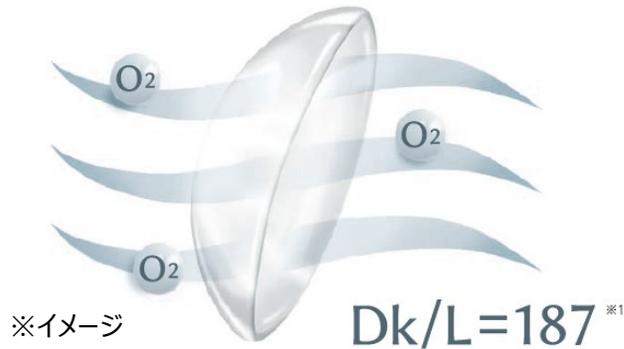
酸素流量率 × 高含水 (柔軟性)
優しく瞳になじむ軽やかなつけ心地



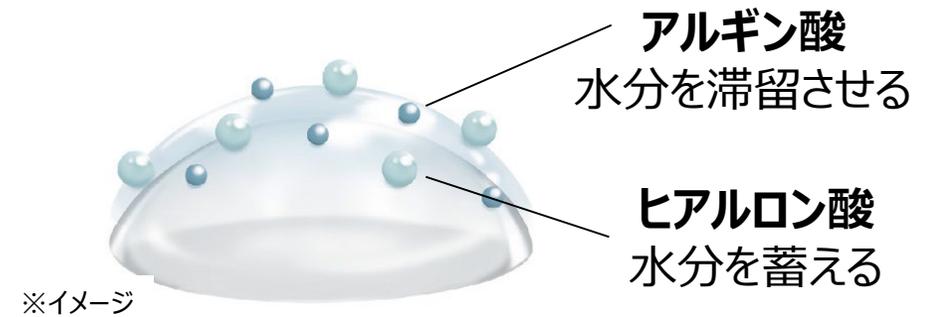
※ 酸素流量率 = コンタクトレンズ装着時に角膜に届く酸素の量 / 裸眼時に角膜に届く酸素の量
A Model of Oxygen Flux : Brennan(開眼時)に基づく中心部における測定

1日使い捨てシリコンハイドロゲルレンズ
シード AirGrade 1day UV W-Moisture
(エアグレード ワンデー UV ダブルモイスチャー)

2022年8月23日～
全国販売予定



優れた酸素透過率



Wの保湿成分配合

素材の選択肢
(選択重視ポイント)

SIB素材

シリコンハイドロゲル

機能性

スタンダード
コスト重視

うるおい
つけ心地

酸素
つけ心地

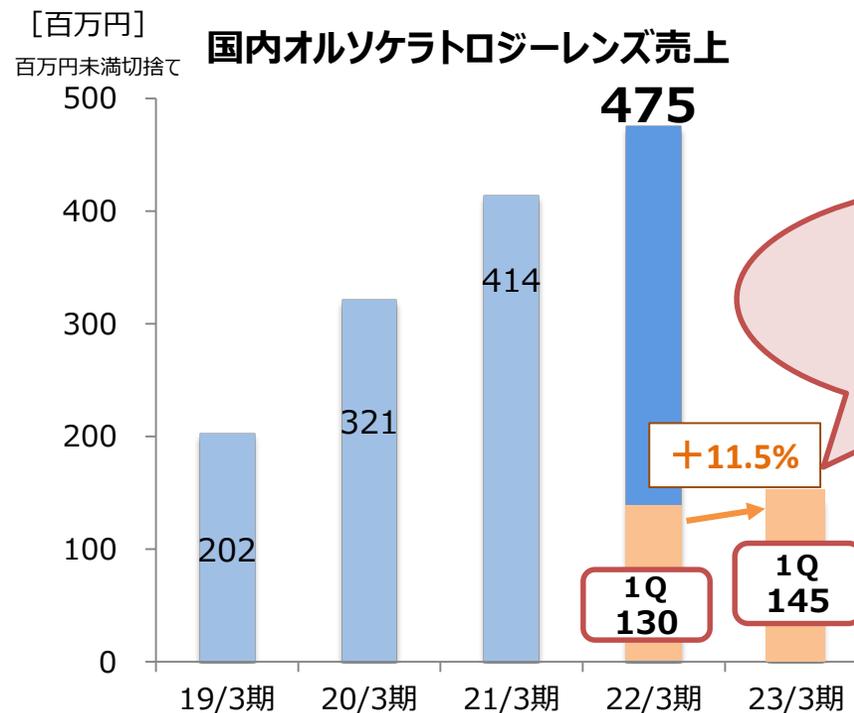
より高い酸素透過率を
重視する



シードの国産レンズシリーズ

2つの異なる特長でシリコンハイドロゲルレンズ市場での商品競争力を強化

寝ている間に視力矯正ができるオルソケラトロジーレンズ



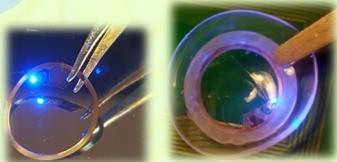
国内外での販売状況

■ 販売中

日本、東南アジア、香港、インド、欧州

■ 準備中

中国：2024年販売に向けて承認申請中



Imec×ゲント大学×シードで
スマートコンタクトレンズの共同研究
(LEDを搭載した回路を埋入し、発光＜駆動＞
することができる含水性素材と製造方法を
スマートレンズの基礎技術として確立)



RETISSA® Display II・RETISSA®メディカル
《株式会社QDレーザ》



METORI-50V
(スマートフォン設置型撮影装置)



シード1dayPure ED0F
(遠近両用コンタクトレンズ)



近視チェック
《横浜近視予防研究所株式会社》



oDocs nun
(動物用眼底カメラ)※近日発売予定



わんタクト・にゃんタクト
(動物用バンテージコンタクトレンズ)

次世代商品の開発

- ✓ **近視進行抑制**：近視進行抑制分野の用途拡大を目指し、国内でシード1dayPure ED0Fの治験を開始。オルソケラトロジーレンズについては治験準備中。国内外の大学にて臨床試験を実施中。
- ✓ シリコンレンズ：高い酸素透過性レンズの開発
- ✓ Personalization：お客様一人ひとりに合わせた製品の開発
- ✓ 医療用デバイス：内視鏡用フード等、コンタクトレンズの技術を活かした新たな分野に進出
- ✓ スマートコンタクトレンズ：トリガーフィッシュ第2世代の開発
- ✓ 医薬品との融合：DDSコンタクトレンズ（薬物徐放コンタクトレンズ）の治験実施中



トリガーフィッシュ センサー（角膜曲率変動測定計）
トリガーフィッシュ（テレメトリー式生体信号測定装置）

新任社外取締役1名が就任

・2022年6月24日の定時株主総会において、小泉氏の有する眼科医療と医工学の分野での高い見識と専門性を、当社の企業価値向上と経営管理に生かすことを期待し取締役に就任。



社外取締役
小泉 範子

2000年10月 ケルン大学眼科 博士研究員
2010年 4月 同志社大学生命医科学部 教授（現任）
京都府立医科大学医学部 客員教授（現任）
2015年 4月 京都大学医学部 臨床教授（現任）
2018年 5月 アクチュアライズ(株) 最高科学責任者（現任）
2022年 6月 当社社外取締役（現任）

取締役および監査役のスキルマトリクス

| 取締役 | | 企業経営 | 当社事業に関する知見 | ガバナンス・リスク マネジメント・法務 | 財務・税務・会計・金融・資本市場 | M&A・経営再建 | 商品企画・生産・技術 | 化学・工学・薬学・医学 | ロジスティクス | 国際経験・海外ビジネス |
|---------|--------|------|------------|------------------------|------------------|----------|------------|-------------|---------|-------------|
| 代表取締役社長 | 浦壁 昌広 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | ● |
| 取締役 | 杉山 哲也 | | ● | ● | ● | | | | | |
| 取締役 | 細川 均 | | ● | | | | ● | | | |
| 取締役 | 福田 猛 | | ● | | | | ● | ● | | |
| 取締役 | 佐藤 隆郎 | | ● | | | | ● | ● | | |
| 取締役 | 森 大助 | | ● | ● | ● | | ● | | | |
| 社外取締役 | 小原 之夫 | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● |
| 社外取締役 | 大竹 裕子 | ● | ● | ● | ● | ● | | | | |
| 社外取締役 | 小泉 範子 | ● | ● | | | | | ● | | |
| 監査役 | | | | | | | | | | |
| 常勤監査役 | 中山 友之 | | ● | | | | ● | | ● | |
| 社外監査役 | 二瓶 ひろ子 | | ● | ● | | | | | | ● |
| 社外監査役 | 林 龍太郎 | ● | ● | ● | ● | | | | | ● |

1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス
- 3. 中期経営計画進捗**
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

2022年6月24日開示 3ヶ年中期経営計画 進捗

～「見える」に新たな価値を～

最先端の技術を活用し、高機能・高付加価値の
コンタクトレンズを開発し、市場に新しい価値を提供していく

（中期計画の位置付け）

効率的な生産の実現と更なる品質の向上
非価格競争力のある商品の開発
連結売上高400億円への足場を固める

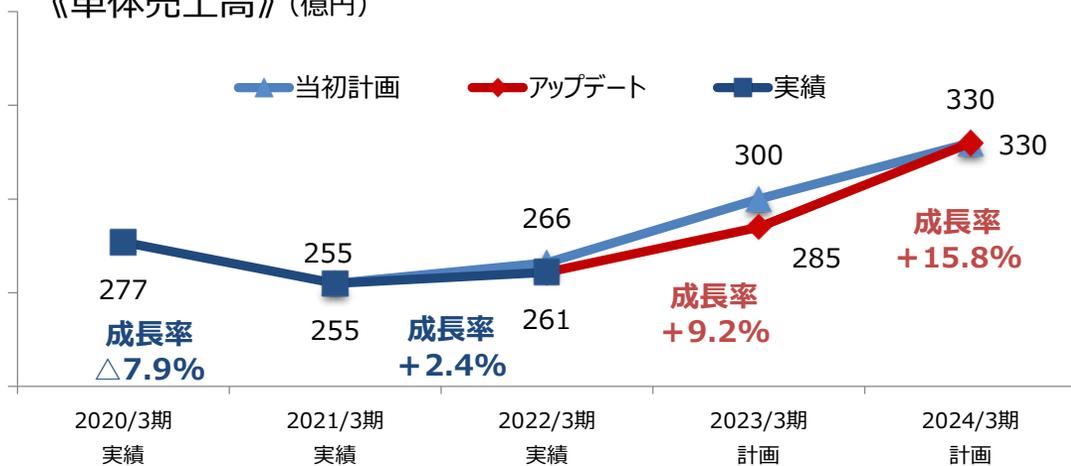
（シードの主要施策）

**“『Made in Nippon』と『Japan Quality』のプライドを通じて
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

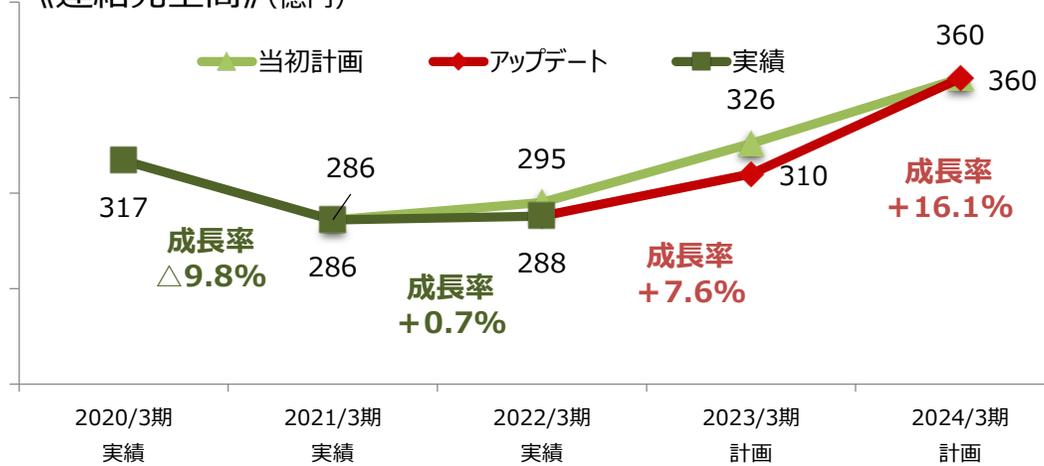
日本国内での安定した成長と同時に、積極果敢な世界展開を実現
積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
省人化・自動化などの技術力の向上により、規模の拡大と多品種少量生産を実現
検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズで実現
ダイバシティとインクルージョンの推進及びカーボンニュートラルへの取り組みを実施

中期経営計画進捗 ～財務目標～

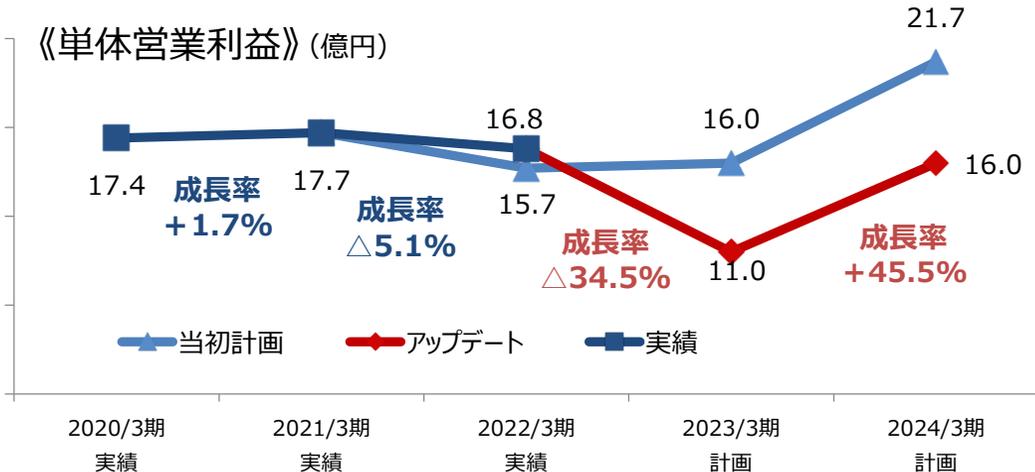
《単体売上高》(億円)



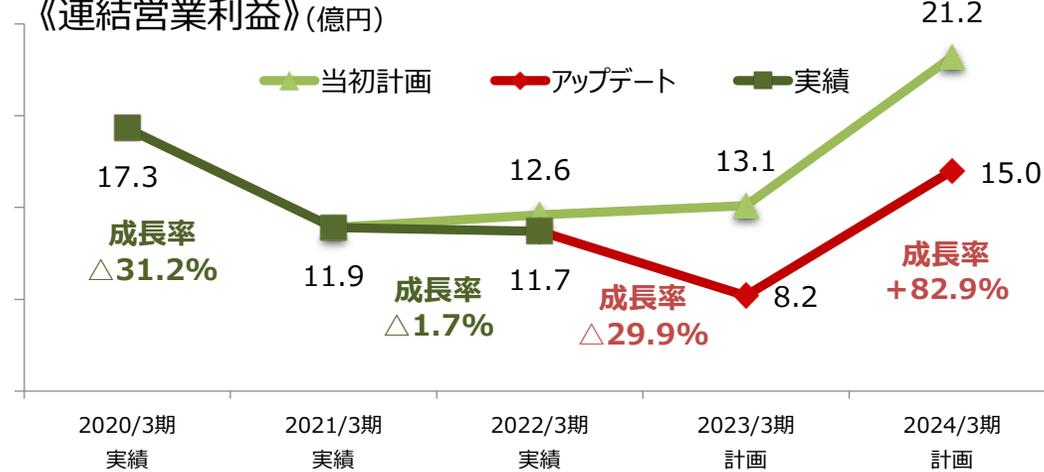
《連結売上高》(億円)



《単体営業利益》(億円)



《連結営業利益》(億円)



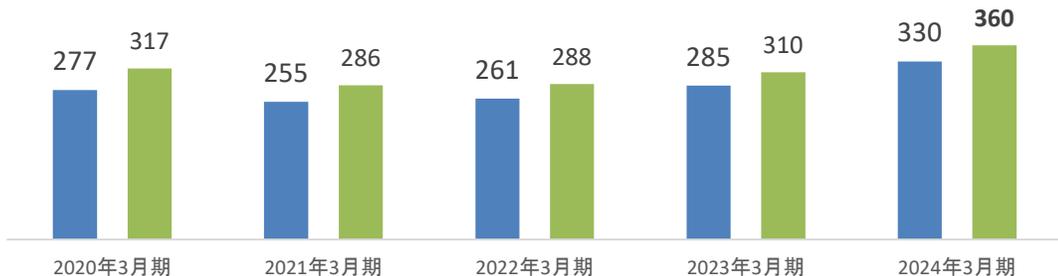
- ✓ 2024年3月期は国内向けシリコンレンズが売上を牽引し、連結売上高 360億円達成を見込む
- ✓ 電力をはじめとしたエネルギー価格の高騰と、急激な円安により、営業利益の見直しを実施

中期経営計画進捗 ～財務目標～

(億円)

売上高

■ 単体 ■ 連結



✓ 連結売上高 360億円とし、400億円への足場を固める

(億円)

営業利益

■ 単体 ■ 連結

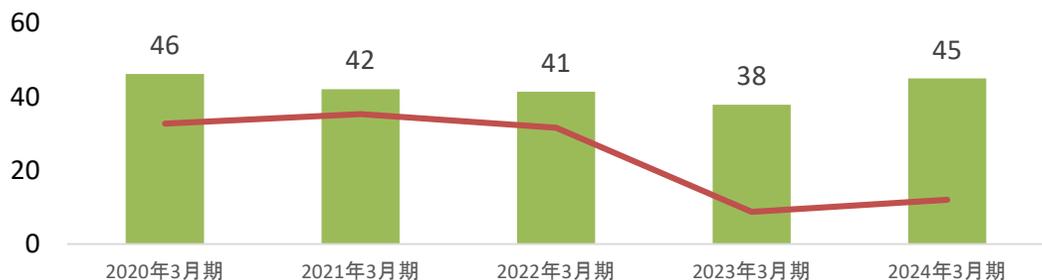


✓ 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する

EBITDA

(億円)

■ EBITDA ■ EBITDAマージン



✓ キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 50億円を目指す

ROE

(%)

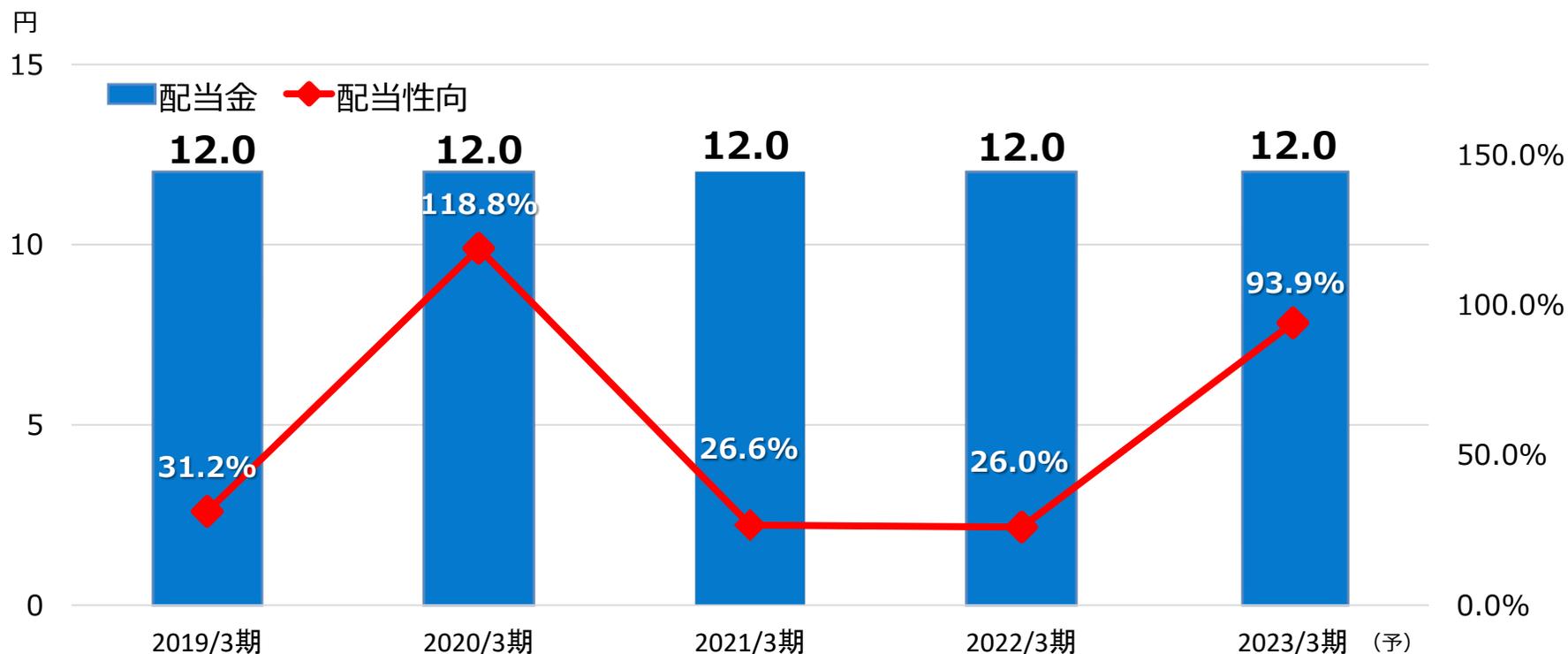
(億円)

■ 親会社に帰属する当期純利益 ■ ROE



✓ 利益効率を高め、ROE 10%を目指す

株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

株主への利益還元を継続していく基本方針と、
中長期的には事業規模の拡大は収益拡大に繋がることを総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき **12円**

1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
- 4. 2023年3月期 見通し**
5. 参考資料

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

| | 2022年3月期 | 2023年3月期見通し | ＜参考＞前期比較※ | |
|---------------------|----------|---------------|-----------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 28,835 | 31,000 | +2,165 | +7.5% |
| 営業利益 | 1,177 | 820 | △357 | △30.3% |
| (営業利益率) | 4.1% | 2.6% | | △1.5% |
| 経常利益 | 1,138 | 700 | △438 | △38.5% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,153 | 320 | △833 | △72.3% |

- 売上高：主要量販店等へのOEM供給を実施し、生産ラインの稼働率を担保
シリコンハイドロゲル素材ワンデーコンタクトレンズの発売により、シリコンレンズカテゴリーでの商品力を高めていく
- 営業利益：新型コロナウイルスによる感染の再拡大リスクや消費者の生活防衛意識の高まりによる価格競争の一層の激化、ロシアのウクライナ侵攻等を受け、原油を中心とした一次産品価格上昇の動向や、エネルギー価格の高止まり、円安の進行によるコストアップのため、2022年4月1日より一部製品で順次価格改定を実施
破棄・工程内のムダ削減による粗利率の向上。競争力維持のための投資は実施

1. 2023年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第1四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. **参考資料**

- 本社：東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
- 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 東京証券取引所プライム市場 証券コード：7743
- 資本金：1,841百万円 ■ 従業員：985名(連結) ※2022年3月末現在
- 営業所：8 (札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在12 (盛岡・静岡 他) ※2022年3月末現在
- 工場・研究所：シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)



- 沿革 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2017年10月 おかげさまで創立60周年
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行



鴻巣研究所



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



保育・児童施設 ふくろうの森

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。

■ 純国産Pureシリーズ



遠近両用

■ サークルレンズ



乱視用

シード Eye coffret 1day UV M



乱視用

遠近両用

乱視用

遠近両用



■ カラーレンズ



■ 従来型コンタクトレンズ

ハードコンタクトレンズ
全7種8品

ソフトコンタクトレンズ
全3種

■ Fineシリーズ



■ オルソケラトロジーレンズ

プレスオーコレクト

■ 特殊レンズ シード 虹彩付ソフト
シード Bi-Expert
ユーソフト

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



NEW
フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液



倉庫棟および3号棟資材倉庫屋上に 太陽光発電設備を新たに設置 ～2022年6月1日より発電開始～



CO2削減効果と同時に非常用電力として蓄電池に充電することにより、BCP対策としても有効活用してまいります。

太陽光パネル設置容量：270.00kw
想定発電量：308,987kwh/年
想定CO2削減量：158.2t-CO2/年

「TCFDに対する当社の対応」を公表

金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に基づき、気候変動に関連するガバナンス、事業への影響と対策、リスク管理について検討と対応を行っております。

統合報告書 –SEED Report 2022–



株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに対し、当社グループの強みや特長、価値創造に向けた取り組み、今後の成長戦略等、財務・非財務両面から総合的に理解を深めていただくことを目的とし、2021年より統合報告書を発行しております。

SNS



シード公式チャンネル

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動（理科実験教室）



株式会社シード広報担当（公式）

・CSR活動の報告 ・イベントの告知 ・会社や社員の様子



アイコフレ ワンデー UV M belleme.official

・モデルによる商品レビュー ・メイク方法 ・コンタクトレンズに関するQ&A



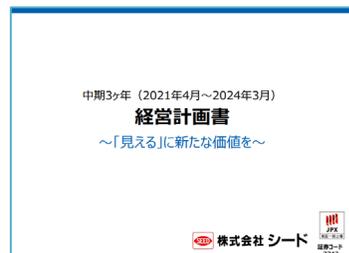
シード広報

・会社の裏側 ・コンタクトレンズライフを豊かにする情報等

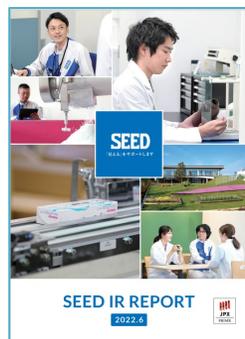
当社HP



決算説明会・株主総会資料



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日（月）より、
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にて
IRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲
載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



※2022年8月現在
*：連結子会社

国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司 (中華人民共和国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中華人民共和国)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール共和国)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

SEED CONTACT LENS (ANZ) PTY LTD.
(オーストラリア)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk-Contact-Linsen Vertriebs GmbH
(オーストリア)

*Sensimed SA
(スイス)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。